

pen

with New Attitude

10/15

2009 No.254

特別定価 600 yen



気温35℃の中、アップダウンの激しいコルシカ島を一日中疾走する、日陰で小休止。



オーレ山脈にて。オーレ山脈はスウェーデン最大のスキーリゾート。スキーフリークで贈る。



運動途中の橋からは、ストックホルム市庁舎や旧市街など美しいウォーターフロントを一望する。



起伏の多い岩場や森、平らな所では40~20秒ダッシュを繰り返すインターバルで走ることが多い。



スノーボードに出かけた晴天の5月末の週末。オーレの頂上で一息。後のテントではトナカイ肉のグリルサンドや温かい飲み物をサーブしている。



もともとは日本のカワムラサイクルが製造。現在はスウェーデンで生産の続くな。



密着感を高めるためにペダルに固定される専用の靴。横にスナップをかけると外れる仕組み。

● Pen's Select

カーボン素材を使ったMERAKは、軽量、高い剛性、そして非常に高い空力弾性を併せもつ。¥510,300(フレームセット) / デローザ(日高商会 ☎03-988-8251)



日本の代表的トレイルランナー、石川弘樹と共同開発したモデル。多彩な機能を搭載。バッグ¥13,440/グレゴリー(オッシュマンズ原宿店 ☎03-3478-4888)



吸汗・速乾性に優れたストレッチ素材は、ウォーキングなどの運動に最適。ジャケット¥8,295、パンツ¥7,245/ともにアーニー(デサント ☎03-5979-6101)

超軽量のトレイルランニング用シューズ。インテグラルフィットシステムが、快適な走行性を生む。シューズ¥14,175/モントレイン(オッシュマンズ原宿店)





ストックホルム
Stockholm

ミカエル・シェリーン

—コントロール・ユア・ワイヤーズ代表—

気鋭の企業家は、活発に日々を過ごす。

ストックホルムで活躍する新進気鋭の企業家ミカエル。彼にとってのスポーツは、気分をポジティブに変える魔法のようなものだという。



iPodなどのコードをすっきり収納するコードコントロール。不純物を最小限に抑えたシリコン製。

Mikael Schelin

●ストックホルム在住の33歳。ストックホルム・ビジネススクール卒。ロンドンで経済アナリストを経て、イベータイプなデザインや技術に焦点をあてる会社コントロール・ユア・ワイヤーズを設立。www.controlyourwires.com

最高の気分転換になる。

「コードコントロールはそもそも、自分がスポーツする時に欠かせない」

Prodの長くてもつれるケーブルをコンパクトにまとめるために思いついた「プロダクトなんだ」

有名なインベストメント・バンクでアナリストをしていた彼だが、小さい頃から自転車を直したり、改造したりさまざまな問題の解決法を自分でひねり出すのが好きだったことも高じて、革新的なデザイン・ソリューション会社を設立した。

クリエイターのオフィスが集まりつある郊外の地、テレフォンブランはミカエルにとって好立地だ。自宅から

自転車通勤には適度な距離。シェアオフィスの入っている元エリクソンの巨大な電話工場跡には会員になっているジムもある。さらにその裏手には、仕事を合間に軽くジョギングに出かけられる森もあり、集中力が散漫になった時や、アイデアに煮詰まつた時に最高の気分転換になる。

「仕事中のスポーツはコーヒーブレイクのようなもの。息抜きにもなれば、アイデアを整理するツールにもなる」

オフの時も、スポーツが中心。8月の夏休みは彼女とコルシカ島に自転車をもって飛び、3週間のサイクリング旅行を楽しんだ。

冬は昔からスキーとスノーボード三昧。オーレーという有名なスキーリゾートに親戚のヴィンターロッジがあるためそこに通いつめる。「ストックホルムにも人工のゲレンデがあつて人気があるが、僕は昔から雄大なゲレンデを知つてしまつてからね。街向きの日常のスポーツと遠出するスポーツは分けているよ。でも自然豊かなストックホルムは夏にはセーリングやカヌー、冬はクロスカントリースキーや湖を走り抜ける長距離スケートなどスポーツの宝庫だよ」

日常生活にスポーツがあることが、彼の仕事や生き方をポジティブにするきっかけになつていて。